8月15日(水)
新成人106人の新たな誓い
～平成30年度伯耆町成人式～

伯耆町成人式が8月15日（水）、鬼の館で開催され、新成人106人のうち83人が参加しました。参加者はスーツやドレスといった華やかな装いで、友人との久々の再会を喜びながら、式に臨みました。

式では、町長、議長がお祝いの言葉を送ったほか、当時の岸本中学校3年C組担任河本将和さん、溝口中学校3年2組担任隠樹恭衣さんが当時を振り返りながら、「伯耆町を支える大きな力となってほしい」「人と人とのつながりを大切に、自分もまわりも幸せにできるような人になってください」と、かつての生徒たちにエールを贈りました。

また、今年度の新成人代表光木優翔さんが「大人としての責任を自覚し、生きていきます」と誓いの言葉を述べました。

その後行われた記念講演では、JAICA隊員としてカンボジアで活動された齋藤凱さんが、「これからみなさんへ」と題し講演を行い、現地での経験をもとに感じた、チャレンジすることの大切さ、人とのつながりの大切さを話されました。

▲誓いの言葉を述べた光木優翔さん

▲記念品を受け取る藤原幸大さん

8月15日(水)
踊りと花火の夏の夜
～第55回きしもと豊年盆踊り花火大会～

お盆の恒例行事となった、きしもと豊年盆踊り大会が8月15日（水）、岸本中学校グラウンドで開催されました。

当日は、元気いっぱいの子ども神輿のオープニングに始まり、太鼓の演奏、盆踊り、花火大会が行われ、来場者は、取り囲むように屋台が立ち並ぶ会場で思い思いに恒例のお祭りを楽しんでいました。

今回の盆踊りでは「きしもと音頭」のほか、フィットネス&スタジオパルが振付をした「ダンシングヒーロー盆踊り」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

祭りのフィナーレを飾る花火大会では、打ちあがる花火に合わせて、和楽衣箱のパフォーマンスが披露され、観客は花火と音楽のコラボレーションを楽しみました。

▲元気いっぱい子ども神輿

▲音楽に合わせてひと踊り

8月19日(日)
暑い夏の熱い戦い
～第24回オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆～

ジュニアアスリートたちによる鉄人レース、ジュニアトライアスロンが8月19日（日）、伯耆町総合スポーツ公園で開催されました。

会場には、全国13都府県から約225人の選手が集まり、また、彼らの挑戦を支えようと、200人のボランティアも参加しました。

レースは小学校低学年・中学年・高学年、中学生の4部門で争われ、選手はスイム・バイク・ランの3種目に挑戦し、ゴールを目指しました。

「前回より順位を上げるぞ」「完走めざして頑張りたい」などの目標を胸にレースを戦い抜いた選手たちへ、ゴールで待っていた家族や観客から暖かい拍手が送られました。

なお、この大会は、スポーツ振興くじtotoの助成を受けて実施しています。

▲熱い戦いの始まり

▲ゴールで待つ家族のもとへ

8月26日(日)
これからも続く交流のために
～コミュニティ助成事業を活用して～

父原区自治会と、児童養護施設「天使園」との交流会が、8月26日（日）、父原公民館で開催されました。

父原区自治会では、天使園との交流を20年以上にわたり続けてこられ、毎年夏に子どもたちを招き交流会を開催しています。今回の交流会の開催にあたって、老朽化したテントなどを新調するため、（一財）自治総合センターが宝くじの収入を財源に行っている「コミュニティ助成事業」を活用し、コミュニティ活動備品を宝くじの助成金で整備しました。

今回の備品整備で、今後も持続可能な交流が図れることが期待されます。

▲活動の様子

▲備品倉庫

▲テント